

美祿市新美東総合支所庁舎等整備基本計画(案) 概要版

令和2年10月

1 新美東総合支所庁舎等整備計画の背景

新美東総合支所庁舎等整備計画の必要性

現在の美東総合支所庁舎は、昭和30年に建設された旧耐震基準の建物で、老朽化が進行しています。今後も使い続けるには、大規模な耐震改修工事などが必要です。また、敷地の周辺には美東センター（大田公民館、美東図書館）などの公共施設が立地していますが、総合支所庁舎と同様、いずれも旧耐震基準で建てられたもので、安全性に不安を抱えています。

このため、新総合支所庁舎等整備基本構想に基づき総合支所、公民館、図書館機能を複合して、地域の新しい中心となる施設の整備を進めています。

新美東総合支所庁舎等整備基本計画の検討経過

美東地域では、高齢化の進行、出生率の低下、人口減少といった課題を抱える中で、地域の中に新しいくらしの中心をつくり直すことが喫緊の課題となっています。そのために、住民、行政、計画者が、市民ワークショップなどでの議論を重ね、協働して施設づくりの目標や、必要な機能を検討し、基本計画(案)をまとめました。

2 新美東総合支所庁舎等整備計画の基本的な考え方

新美東総合支所庁舎等整備の目標

市民ワークショップでの議論をもとに、施設づくりの目標や、目標を実現するために備えるべき4つの要素と、それぞれの要素に必要な機能、必要な場所・空間についての考え方を共有しました。



美東総合支所および周辺施設の現況

施設づくりの目標と備えるべき4つの要素

必要な機能

必要な場所・空間

みんなが頼りにできるくらしの中心をつくる

1. みんなが気軽に集まる世代を超えた居場所

2. みんながさまざまな活動を展開する活動の場

3. みんなをつなぐ情報拠点

4. みんなのくらしを支える場所

- ・居場所
 - ・ロビー
 - ・市民サロン
 - ・談話コーナー
 - ・カフェ
 - ・キッズスペース
 - ・雑誌や新聞の閲覧コーナー
 - ・エンガワや半外部空間
- ・子育て支援
 - ・カフェ
 - ・子育てサロン
 - ・授乳室
- ・文化活動
 - ・多目的ホール
 - ・会議室、研修室
 - ・調理室
 - ・和室
 - ・ギャラリー
- ・軽運動やスポーツ
 - ・多目的ホール
- ・図書館
 - ・開架図書コーナー
 - ・子ども図書コーナー
 - ・読書室
 - ・DVD鑑賞コーナー
 - ・雑誌や新聞の閲覧コーナー
- ・地域情報コーナー
 - ・地域情報コーナー
- ・観光情報コーナー
 - ・観光情報コーナー
- ・手続き、相談窓口
 - ・総合窓口カウンター
 - ・相談コーナー
 - ・公民館事務室
- ・銀行
 - ・銀行、ATM
- ・買い物
 - ・コンビニ
 - ・移動販売、共同売店
- ・災害時の防災拠点
 - ・避難所、備蓄倉庫

3 美東地域の複合施設(新美東総合支所庁舎等)の整備方針

複合施設の建設場所

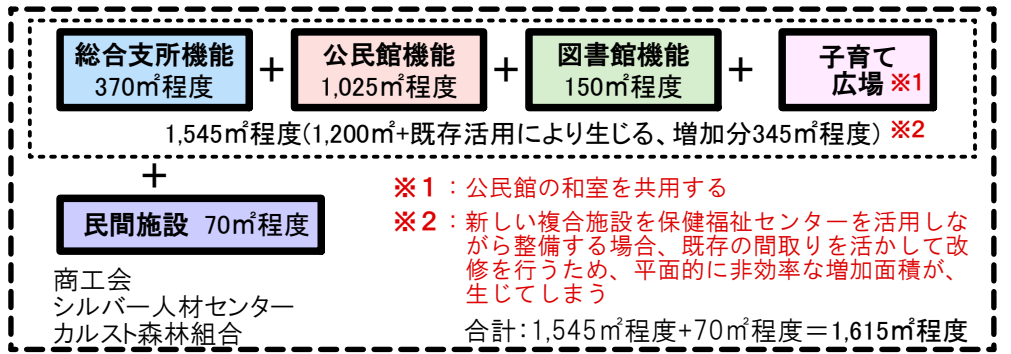
○建設場所：新耐震基準でつくられている美東保健福祉センターを活用し、不足する機能を増築することで、一体的に整備する

○まちづくりについての考え方：

・周辺の保育園、小学校、中学校などの教育施設と一体的に「教育・子育てエリア」の中での計画づくりが重要となる。また、大田中央バス停からの交通アクセス方法を確保し、子どもからお年寄りまですべての人にとって利用しやすい複合施設とすることが求められている。

複合化の考え方

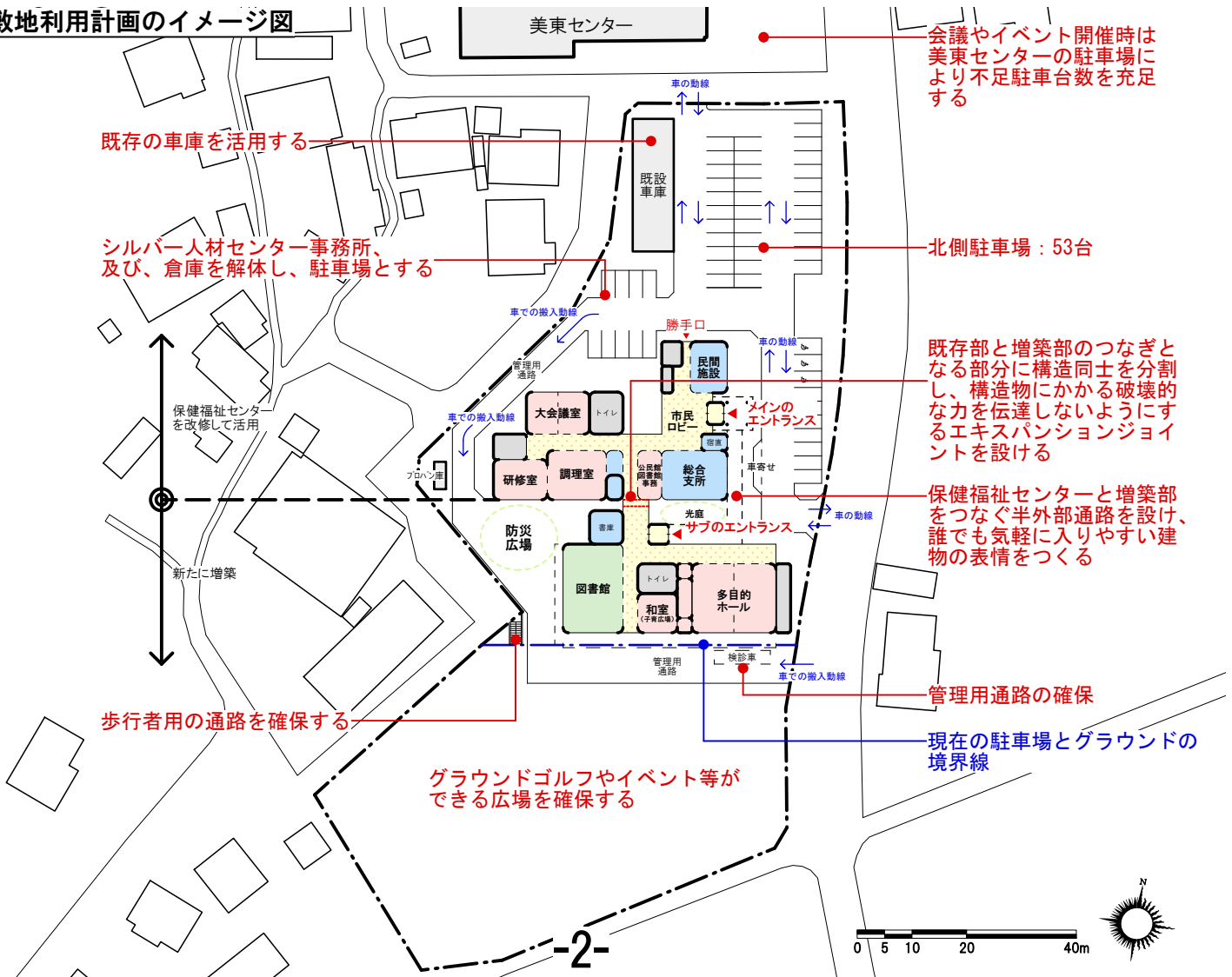
3つの公共施設(総合支所機能・公民館機能・図書館機能)と民間施設を複合させ、前項に示す施設づくりの目標を実現するための4つの要素を満たした施設とし、美東地域の新しいくらしの中心をつくり出す



敷地利用計画

- ・複合施設(総合支所、公民館、図書館、子育て広場、民間施設)：施設規模1,615㎡程度として整備する。現在、保健福祉センターで活動を行う、児童クラブについては、複合の可能性を引き続き検討する。
- ・駐車場：敷地の北側に駐車場(53台)を整備する。会議・イベント開催時に駐車場の不足が見込まれる場合を考慮し、美東センターの駐車場(75台)の利用により充足する。また、高齢者や障害のある人用として、車いす用駐車場を3台、エントランス付近に確保する。
- ・既存車庫：既存車庫を公用車用(10台)として活用する。
- ・南側広場：現在、市民有志が南側の広場をグラウンドゴルフのコースとして利用しているため、活動に必要な広さについては協議の上、確保するものとする。

敷地利用計画のイメージ図

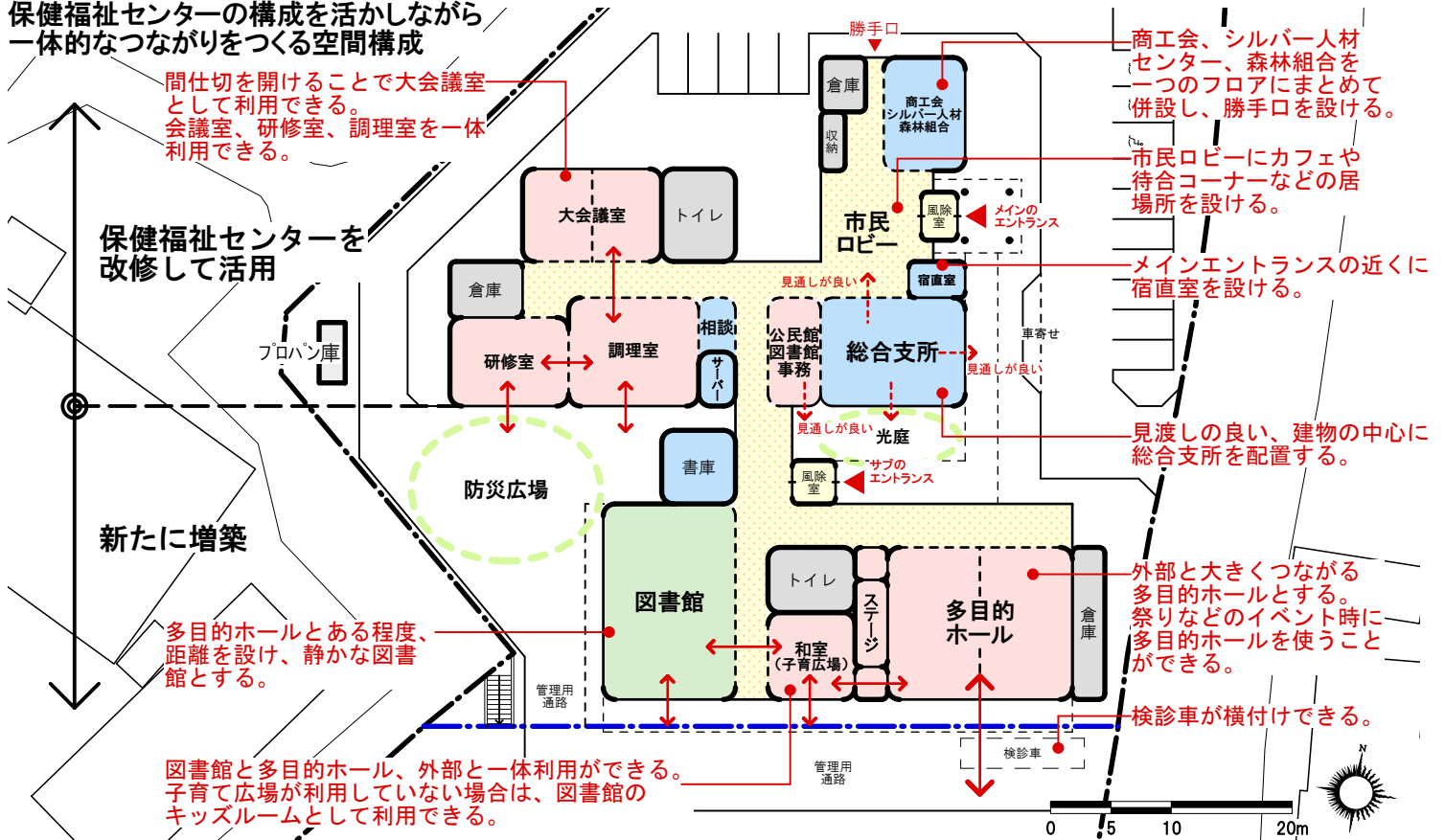


くらしの中心を担う建築の姿

- ① 公民館、図書館、総合支所、民間施設が複合していることの利点を生かし、市民の新しい活動を支え、賑わいの中心となる建築
- ② いつも地域に対して開かれていて、みんなが普段着のまま気軽に集まれる、リビングルームのような建築
- ③ 小さくつくり、大きく使い、みんなで大事に育てていく、地域の誇りとなる建築
- ④ 子どもからお年寄りまで、すべての人に優しい建築
- ⑤ 災害時などにおいても安全、安心な、住民にとって頼りになる建築
- ⑥ 自然エネルギーを最大限活用し、環境への負荷を抑制した地球環境に優しい建築
- ⑦ 既存の建築ストック(保健福祉センター)を改修して活用することで事業費の削減に努め、地域の木材(美秋材)の活用も含めた、柔らかく、親しみのある建築
- ⑧ 最新のICT環境の整備を進め、情報ネットワークの拠点となる建築

空間構成の基本的な考え方

保健福祉センターの構成を活かしながら
一体的なつながりをつくる空間構成



構造計画

- ・大地震動後、構造体の大きな補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて機能確保を図る
- ・構造種別は、鉄筋コンクリート造、鉄骨造、木造等を今後比較検討して決定する

環境計画

- ・自然光や自然通風、高断熱化などの建築的な工夫による環境負荷の低減を検討
- ・可能な限りの敷地緑化によりヒートアイランド現象の抑制を図る
- ・自然エネルギー、再生可能エネルギーを最大限活用する
- ・ライフサイクルコストの削減に努める

防災計画

- ・災害対策拠点および避難場所として必要な機能や設備を備える
- ・サーバー室や備蓄倉庫には、想定される浸水被害を防ぐための対策を講ずる

ユニバーサルデザイン計画

- ・すべての人が使いやすいユニバーサルデザインを徹底する
- ・分かりやすい空間構成、移動しやすい動線
- ・的確で分かりやすいサインの設置
- ・使いやすい設備

ICT環境の整備

- ・最新のICT環境、IoT環境の整備
- ・美祿市役所本庁舎、美東総合支所との緊密な連携
- ・災害発生時の業務継続に対する十分な対応
- ・フリーアクセスフロア等の整備
- ・AIなどの活用を見据えた通信環境等の整備

交通アクセス計画

- ・新しい施設への公共交通アクセス方法については、今後有効な手段を検討する

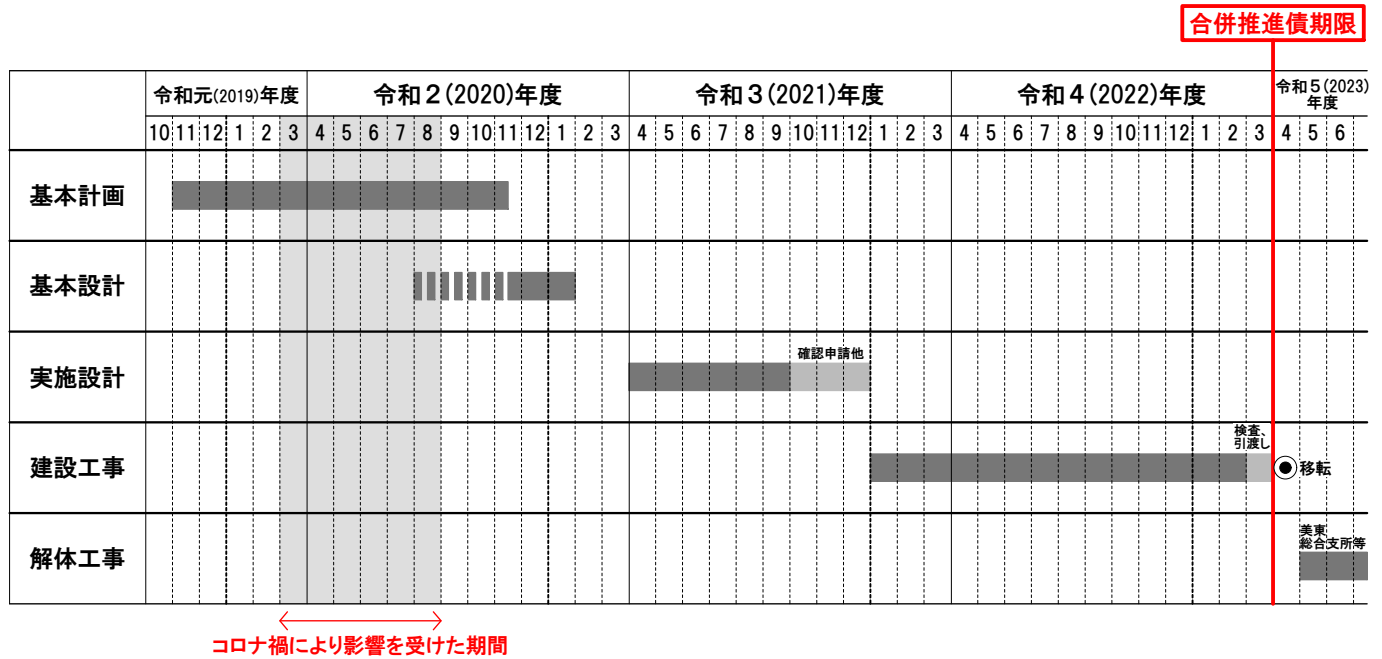
4 事業計画

事業手法

事業手法については、行政主体の「設計・施工分離発注方式(従来方式)」、「設計・施工一括発注方式(DB方式)」、「技術協力・交渉方式(ECI方式)」と民間主体の「PFI方式」、「リース方式」を比較検討した結果、「設計・施工分離発注方式(従来方式)」が最も適していると判断しました。

事業スケジュール

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、基本構想策定時に想定した事業スケジュールを見直しました。本施設の完成時期は、合併推進債の期限の2022年度末を目標とします。ただし、スケジュールについては基本設計、実施設計の各段階において見直す可能性があります。



概算事業費

現段階で想定（増築部工事費単価：税込48万円程度、改修部工事費単価：税込22万円程度）している概算事業費を以下に示します。

ただし、今後の物価の動向を踏まえ、設計・発注段階において見直す可能性があります。

新美東総合支所庁舎等概算事業費

[単位:千円](税込)

項目		金額
建設工事費	新総合支所庁舎等+民間施設	550,300
その他	外構工事、解体工事、調査・設計・監理等	241,530
合計		791,830

財源の検討

本施設の整備に当たっては、合併推進債および過疎対策事業債を主な財源とします。その他の補助事業についても活用を検討し、将来的な財政負担の軽減を図ることとします。

お問い合わせ先:

美祢市美東総合支所 総合窓口課 〒754-0291 美祢市美東町大田5936 TEL 08376-2-5000 FAX 08376-2-5111